## 小さな群れ

カトリック美唄教会 2019年1月 No.260 2018年12月30日発行

## 神への年賀状

ナルチゾ神父

日本では新年の挨拶として、年賀状を書く習慣があります。ヨーロッパでも、クリスマスカードやイースター(復活祭)のカードを取り交わす習慣がありますが、義理で書くわけではないので、日本の年賀状ほど多く書くことはありません。日本に来てから、私も毎年年賀状を書きますが、だんだん増えて、今では 500 枚以上書かなければならず、正直



言って大変です。でも年賀状にはとても良い面があって、年に1回知り合いと挨拶を交わす機会であり、つきあいを深めるものだと思います。年賀状の内容は大体決っています。

「昨年はいろいろお世話になりました」 「今年もよろしく」 「良い年でありますように」 多くの日本人は、初詣といって、元旦に寺や神社にお参りに行き、過ぎた年に感謝し、来る年に対 して健康・安全・富を願います。

キリスト者も1月1日に教会へ行きます。クリスマスの八日目、神の母聖マリアの祝日、イエス の命名の祝日、これがまず、一日の祭日としての趣旨です。ローマ教会の最も古いマリア祝日に由 来するものですが、この祭日に、教会は信徒の方達にすばらしい年賀状を聞かせてくれます。" 今年中、主があなたを祝福し、あなたを守られるように""主が御顔を向けて、あなたを照らし、あ なたに恵みをあたえられるように""主が御顔を向けて、あなたに平安を賜るように"1月1日に教 会へ行って、このような祝福を受けてもらえれば、私はとてもうれしいです。 神が太陽のように、 私達を照らしてくれるように願うのですが、太陽は私達地球人にとって、生きるために必要なもの です。太陽のおかげで、食物は芽を出し、花を咲かせ、実を結んでくれます。太陽がなければ、こ の地上で生活できないのです。家庭では、お母さんの顔が太陽にたとえられています。子供は母の 顔を見て、安心して穏やかに育っていきます。 私達も、いつも主が御顔を向けてくれるならば、 どんな試練でも乗り越えることができるに違いありません。また、現代社会の不安の中で心の平和 を保つことができるに違いありません。人生には、どんな人にも自分に背負えないような試練に出 会うことがあります。堪えられない苦しみを味わうこともあります。その時、この祝福に書かれた 通り、神の恵みが与えられるならば、どんな試練をも乗り越え、どんな苦しみも堪え忍ぶことがで きるでしょう。昨年の元旦、私は今年はどんなことがあるだろうかと考えていましたが、実際には 想像できないような様々な出来事がありました。うれしいこと、悲しいこと、つらいこと、堪えら れないこともありました。その時はいつも心から、そしてくり返しくり返しこう祈ります。"主よ、 御顔を私に向けて、私を照らし、私にお恵みをお与えください。"おかげで、2018年という年 を、無事に有益に過ごすことができたように思います。

二十一世紀に入って、どんな楽しいこと、またどんな素晴らしい人に出会えるでしょうか。どんな試練を堪え忍ばなければならないのでしょうか。どんな場合にしても、主が私達を守ってくれるなら、いつも穏やかで、平和で、柔和な心で、人と接することができるに違いありません。 私はやはり神様にも年賀状を出したいと思います。 「昨年は色々お世話になりました。今年もよろしくお願いします。」 あなたも神様に、忘れずに年賀状を書いてみてはいかがでしょうか。

## 2019年1月 主日ミサ・平日のミサ 予定

1月の先読みは大城繁子さんです。

В	曜	<u></u>	サ	各種勉強会	会議・その他事項
		主日・祭日	時間		
1	火	神の母聖マリア	午前 11:00		世界平和の日
4	金	初金	午前 10:30	ミサ後 聖書に親しむ	
6		主の公現	午前 11:00		ツリーの片付け (ミサ前 AM9:00~)
11	金		午前 10:30	ミサ後 聖書に親しむ	施設訪問(佐々木、小山)
13		主の洗礼	午前 11:00		ミサ後 運営委員会
18	金		午前 10:30	ミサ後 聖書に親しむ	
20		年間 第2主日	午前 11:00		
25	金		午前 10:30	ミサ後 聖書に親しむ	
27		年間 第3主日	午前 11:00		世界子供助け合いの日 特別献金

《 平日のミサ 》 **金曜日のみ 午前 10:30** 4,11,18.25日 《 聖書を親しむ 》 平日のミサ後、旧約聖書に親しんでみませんか。 《ロザリオの祈り》 1月~3月までお休み

霊名の祝日	清掃当番
1/1 神の母聖マリア 河野 智子	【第2週】河野
1/21 アグネス 東 可奈子、板垣春江	【第4週】東、葛西

◎待降節中の犠牲献金は30,000円が集まりました。 カリタスジャパンへ15,000円、札幌カリタスへ15,000円 それぞれ送付致しました。